

3歳児健診の目の検査で 機器による屈折検査を実施します

～こどもの弱視を早く見つけて、治療につなげるために～

箕輪町の3歳児健康診査に家庭での視力検査に加え、視能訓練士による屈折検査を導入しています。子どもの視力は、3～5歳をピークに6歳までにほぼ完成します。この時期に屈折異常（近視・遠視・乱視）や斜視などの問題を早期発見し、適切な時期に適切な治療を開始することが重要です。家庭での視力検査と機器による屈折検査を併用することにより、視機能上の問題を的確に見つけやすくなることが期待されます。

屈折検査について

■使用する機器の名称

スポットビジョンスクリーナー

■検査でわかること

弱視の原因となる近視・遠視・乱視・斜視・不同視・瞳孔不同等を見つける検査です。



注：屈折検査は、視力の値を調べるものではありません

*視力は別紙＜家庭での視力検査＞の結果で確認をします。

家庭での視力検査は視覚異常の早期発見に大切な機会です。ご家庭で検査をし、おたずね票に記入してから健診へお越しください。

**お家での視力
検査も大切！**

■検査はカンタンにできます

ポラロイドカメラに似た機器で、目の写真を撮るように入力します。機器の光っているところを数秒見るだけです。短時間で両方の目が一度に検査できるため、お子さんに適しています。

■検査時のお子さんの動き

- 1.暗めの部屋に入り、イスに座ります。
- 2.カメラの光っているところを、数秒見ます。
- 3.おわりです。

■箕輪町の3歳児健診・視覚検査は

- 1.家庭での視力検査
- 2.会場での屈折検査
- 3.問診
- 4.診察

上記の1～4を総合的にみて、必要なお子さんへ医療機関受診をお勧めします。